

環境経営レポート

＜2022年度暫定版＞

対象期間： 2023年4月1日～2023年6月30日

発行日 ： 2023年7月25日

株式会社 宮嘉組

目次

1. 組織の概要	1P
2. 対象範囲	1P
3. 実施体制	2P
4. 環境経営方針	3P
5. 環境経営目標(中長期)	4P
6. 環境経営計画	4P
7. 環境経営目標の実績と評価	5P
8. 環境経営活動の結果と評価・次年度の取組	6P
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反訴訟などの有無	7P
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	7P

1. 組織の概要

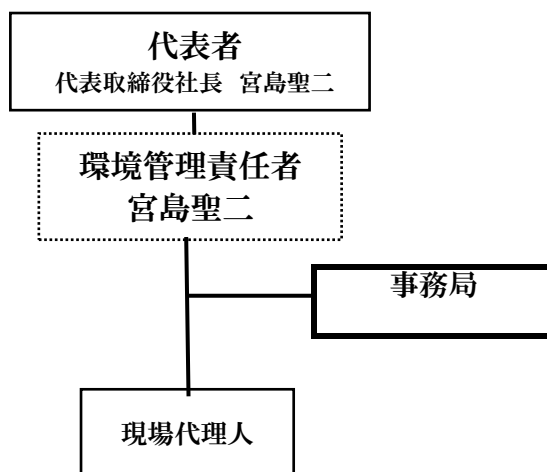
- 1 名称及び代表者名
事業所名 株式会社 宮嘉組
代表取締役社長 宮島聖二
- (2) 所在地
本社 〒386-0155
長野県上田市蒼久保1416-1
資材置場 〒386-0155
長野県上田市蒼久保1352-1
- (3) 環境管理責任者・連絡先
責任者 宮島聖二
連絡先 TEL : 0268-35-0032
fax : 0268-35-0086
E-mail : miyaka@ued.janis.or.jp
- (4) 事業内容
総合建設業 (建築一式、土木一式、とび・土工、舗装)
- (5) 事業の規模
創業 1905年1月25日
資本金 2000万円
売上高 10000万円
敷地面積 435m²
本社
従業員 10名

2. 対象範囲

- ・全組織、全活動、全従業員が対象である
- ・事業年度：10月～9月
- ・レポート対象期間(暫定)4月～6月

3. 実施体制

1) 組織図



2) 責任及び権限

代表者	・ 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ・ システムの構築・運用及び管理に必要な資源を用意する。 ・ 環境経営方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
管理責任者	・ 代表者に代わりシステムの構築・運用状況を監視、結果を代表者に報告する。 ・ 環境関連法規等の取りまとめを行い、遵守状況をチェックする。 ・ 環境目標を設定し、環境活動計画を確認し承認する。 ・ 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。
事務局	・ 環境管理責任者の補佐、推進委員会の事務局。 ・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成。 ・ 環境目標・活動計画原案の作成及び実績の取りまとめ ・ 環境経営レポートの作成、公開（社内に備付けと地域事務局への送付） ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者	・ 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・ 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施と記録。 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・ 環境経営方針、環境経営目標を基本に定められた活動計画に従い業務を遂行する。 ・ 環境負荷の低減、品質向上、安全の確保と業務改善の提案 ・ 異常時、緊急時の報告

4. 環 境 経 営 方 針

【基本理念】

株式会社 宮嘉組は、主に建設業を通じて
社会インフラの整備に取り組んでおります。

建設工事は時として、生活環境に大きな変化をもたらしてしまうリスクを抱えています。
弊社は、環境保全活動を実行することでそのリスクを軽減し、自然との調和を図り、
安心・安全な社会インフラ整備を実現し続けることで、地域の環境維持に、そして
社会に貢献していきます。

【活動方針】

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 以下の取り組みを通して、省エネを促進し、二酸化炭素排出量の削減を目指します。
 - ① 化石燃料の消費削減における二酸化炭素の排出量の削減
 - ② 電気使用量の削減
 - ③ 省エネルギー設備への更新や環境配慮自動車(電気・ハイブリッド)の導入の推進。
 - ④ クリーンエネルギーへの切り替えの促進
2. 廃棄物の削減のため、分別の徹底、再利用、再資源化を推進します。
3. 環境にやさしい施工、製品による建設を推奨します。
4. 環境関連法規・条例の遵守に努めます。
5. 地域の環境整備活動には積極的に参加し、地域の環境を守ります。
6. 環境経営方針を全社員に周知させて、環境意識の向上を図ります。

制定日：2023年3月14日

株式会社 宮嘉組

代表取締役社長 宮島聖二

5. 環境経営目標（中長期）

10月～9月

項 目		単 位	基準値(2021年)	2022年目標	2023年目標	2024年目標
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	16,383	16,219	16,055	15,892
		(%)	100%	99%	98%	97%
	電力	kWh	5,325	5,272	5,219	5,165
	ガソリン	ℓ	4,300	4,257	4,214	4,171
	軽油	ℓ	170	168	167	165
	灯油	ℓ	1,512	1,497	1,482	1,467
	都市ガス	kg	63.00	62.37	61.74	61.11
	一般廃棄物	kg	264	261	259	256
	産業廃棄物	kg	3,439	3,405	3,370	3,336
水使用量		m ³	13	13	13	13

中部電力㈱ 2021年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.388kg-CO2/kWhを使用

6. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素削減について

電気使用量の削減	節電の徹底	→	事務所内…外出時／不在時の消灯徹底する
		→	事務所／倉庫の不要照明・不要換気扇オフ
	OA機器適正管理	→	未使用時電源オフ・節電モードの徹底
	退社時電源チェック	→	目視確認
	クールビズの徹底	→	毎年5月から10月まで実施する

全車両(会社所有、通勤車両)に適用する

ガソリン、軽油使用量の削減	エコドライブの実施	→	急発進・急停止排除、経済速度の励行
	アイドリングストップの実施	→	エンジン停止、空ふかし排除
	運行車両の削減	→	乗り合わせなどにより運行車両を減らす
	車両管理の徹底	→	車両点検、適正空気圧、エンジンオイル等の管理
	運行管理の徹底	→	最適運行最短距離の選択

灯油使用量の削減	灯油ストーブ温度管理の徹底	→	ムダなストーブを使用しない(冬季20℃～22℃)
	退社時電源チェック	→	目視確認(最終退出者と同業者)

廃棄物排出量の削減	一般可燃ごみ削減	→	無駄なコピーをしない／不要な資料の削減
	混合廃棄物の分別	→	再利用の促進(コピー用紙裏表利用) 産業廃棄物と有価物の分別を確実にを行う

(2) 水使用量の削減

節水の徹底	→	清掃時、手洗い時節水を各自にて行う
-------	---	-------------------

7. 環境経営目標の実績と評価

4月～6月

項目		基準値 (2021年度)	2022年度 目標値		2022年度実績
CO2総排出量(kg-CO2)			99%		
電力	kWh	1,174	99%	1,162	1,019
	kg-CO2	456		451	395
ガソリン	ℓ	969	99%	959	1,022
	kg-CO2	2,248		2,226	2,372
軽油	ℓ	170	99%	168	10
	kg-CO2	439		435	26
灯油	ℓ	100	99%	99	60
	kg-CO2	249		247	149
都市ガス	m ³	7.00	99%	6.93	5
	kg-CO2	15.12		14.97	10.8
上水道	m ³	3	100%	3	1
一般廃棄物	kg	48	100%	48	48
産業廃棄物	kg	2,360.0	99%	2,336	0

中部電力㈱ 2021年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.388kg-CO2/kWhを使用

2022年度実績の評価

- (1) 電力
期間中における電気量の使用量は微動だったため、今後の節電に努める。
- (2) 軽油、ガソリン
仕事量の増加に伴い移動の機会が多くガソリンの使用量は増えたが、重機の稼働時間が減ったため軽油の使用料は減った。
- (3) 灯油
仕事内容の変化に伴い発電機などの使用頻度が減ったため。
- (4) 上水道
節水に努めたため使用料が減った。
- (5) 産廃
昨年比で期間中における仕事内容の変化に伴い、現場廃棄物の減少となった

8. 環境経営活動の結果と評価、次年度の取り組み

○できた ×できなかった

	活動計画	取組の結果	評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	・昼休みの節電(消灯)	昼休み時間消灯ほぼできた	○	更に1分でも節電に努める
	・待機電気機器のスイッチ節電	コンセントから抜くことを実施した	×	一部待機機器があったので是正したい
	・使用量、使用料金の把握	把握して現状がわかった	○	今後も把握し節電に努める
	・ガソリン使用量の削減(基準年比1%削減)	日常点検とアイドリングストップは出来た	○	昨年同様、車両の適正な管理に取り組む
	・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	急発進・急ブレーキなどは達成感があると感じた	○	マニュアルの配布をし継続した取り組みを行う
	・適性時期のタイヤ交換(夏/冬、摩耗)	温暖化傾向なので早めに夏タイヤに変えた	○	冬季も次年度も継続していきたい
	・軽油使用量の削減(基準年比1%削減)	仕事内容の変化に伴い重機の稼働が減った	○	今後も効率の良い仕事に努める
廃棄物削減	・一般廃棄物の削減(基準年比1%削減)	事務所のゴミ排出量は削減できた	○	今後も継続して取り組みたい
	・産業廃棄物の削減 ・分別と再生利用の促進	仕事量に変化し、内容が変わって排出量が急激に減った	○	今後も継続して取り組みたい
用水	・水使用量削減(基準年比1%削減)	使用量は、少ない	○	今後も節水に努める
	・会社周辺の降雪時の雪かき(都度)	会社として参加	○	冬季活動推進する
業務改善	・環境にやさしい施工、製品による建設の推進 ・環境配慮型自動車の導入 ・身の回り/職場の整理・整頓(毎週)	数値目標を検討する 売上アップで導入計画をする 5S活動の推進しているがまだまだ!	× × ×	次回までに目標設定をする 計画まで至っていない 今後も整理・整頓に努める

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価、並びに違反及び訴訟の有無

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

注) チェック欄…○遵守 ×不遵守

環境関連法規等の名称	適用される事項 (施設、物質、事業活動)	証拠書類、等	判定
廃棄物処理法	・廃棄物(金属くず、廃プラ、廃油等)の適正処理の徹底 ・契約書、マニフェスト、帳簿の記載 ・水銀に関する廃棄物の適正管理	契約書・許可書 マニフェスト	○
騒音防止法	空気圧縮機 (15Kw以上)	届出書	○
振動規制法	空気圧縮機 (15Kw以上)	届出書	○
建設リサイクル法	対象建設工事の分別計画書の届け	届出書	○
道路交通法	道路使用許可の届出	届出書	○

(2) 違反及び訴訟の有無

上記環境関連法については、遵守チェックリストにより、確実に法規を遵守していることを確認しました。

また、過去3 年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟もありませんでした。

10. 経営者の見直し評価と指示

【取り組みの概要】

エコアクション21に取組み始めて、節電、エコドライブなどの意識の高まりができています

【取り組みの評価】

3ヵ月間の取組だったので、全てにおいての目標達成とはいかなかったが、数値の把握等で現状を理解することができ、今後に活かしたい

【今後の取り組み】

今後も社員教育を実施し規則に沿った取り組みをし、意識改革に繋げていきたい。